



最後の挨拶をする増田幸子会長

地域婦人会総会

3月26日、役場3階大会議室で町地域婦人会（増田幸子会長）の総会が開催されました。総会には、約70人の会員が参加し、今年一年を振り返りました。今年度で退任する増田会長は「18年間、会長を務めさせていただいて、人生の歩みの宝物として、多くの出会いにいい経験をさせていただきました」とあいさつしました。最後は、地域支え合いセンターの中島直子主任生活指導員から「震災時における役割と活動について」の講演があり、地域婦人会総会は幕を閉じました。

すまいるクラブで花見会

3月29日、すまいるクラブ（大森政一会長）が花見会を開催しました。当日は、あいにくの雨で、子育てふれあい館の室内で食事会となりましたが、12人が参加しました。すまいるクラブとは、認知症を抱える人の家族や本人たちなどで結成されている団体。当事者がお互いの悩みを話し合うことが出来る場を提供しています。奥さんの介護を始めて6年目となる甲斐亮雄さんは「震災時の介護が一番辛かった。しかし、地域の支えがあったからこそ乗り越えられた」と涙を流しながら話しました。同じ悩みを持つ人たちが少しでも、ホッとできる場所がここにあります。



自由に語り合い、心癒される場所

男子硬式テニス部—九州大会初出場！

3月29日から31日に、福岡県の博多の森テニス競技場で第15回九州中学生新人テニス大会が開催され、御船中学校の男子硬式テニス部が出場しました。御船中の硬式テニス部が九州大会に出場するのは初めて。リーグ戦では長崎代表の高田中学校、沖縄代表の西崎中学校の2チームと対戦し、競り合った試合でしたが、惜しくも敗戦。部を率いたキャプテンの牧山隼太郎くんは「思うような結果を残すことができなかったが、自分たちの力が十分通用することがわかった。もっと練習を頑張りたい」と悔しい思いと今後の抱負を語りました。



たくさんの応援やご支援ありがとうございました！

街なか散策に必見！まち歩きマップ誕生！

御船町の街なかに、観光案内用の「まち歩きマップ」と「観光地散策案内板」が誕生しました。これは御船ライオンズクラブ（福富壽会長）が水とみどりの森づくり税を活用し、熊本県産杉を使用した事業です。デザインを手がけたのは御船町観光協会（永本文宣会長）。このマップを見れば、町の中心市街地のシンボルロードを中心に広がる新しい街並みと本町通り沿いの懐かしい街並み、街なかのレストランや観光施設が一目でわかります。街なか散策をさらに楽しみたい人には必見です。



今まで知らなかった観光地があるかも

観光地散策案内板

みふね恐竜国際シンポジウム アジアと北米の恐竜の進化



徐 星 博士
中国科学院古脊椎動物古人類研究所 教授
「鳥の起源に関する研究」



マーク グッドウィン 博士
カリフォルニア大学古生物博物館 副館長
「バキケファロサウルスの頭の発達とその理由」



小林 快次 博士
北海道大学総合博物館 准教授
「アジアと北米の獣脚類の進化」



キャリー ウッドルフ
トロント大学 大学院生
「竜脚類-中生代の巨人たち」

3月19・20日、町恐竜博物館に世界各地で恐竜化石の調査・研究に取り組んでいる研究者が集まり、シンポジウムが開催されました。「世界で活躍する研究者の講話が聞きたい！」と全国からおよそ200人の恐竜ファンが本町を訪れました。講話では、化石の発掘から復元、様々な種類の恐竜の進化について最近の研究成果が紹介されました。参加者から「どうやったら皆さんみたいな古生物学者になれますか」「化石を見つけるコツは」などの質問が飛び交い、その場は恐竜のことを深く学べる贅沢な時間になりました。福井県立恐竜博物館の柴田研究員は、「研究は一人ではできない。チームがいて様々な発見ができます。チームを大切に、新しい発見をしてください」と語り、子どもたちにもエールを送りました。



ジョン スカネラ 博士
ロッキー博物館 学芸員
「トリケラトプスと角竜の進化」



柴田 正輝
福井県立大学 講師
福井県立恐竜博物館 研究員
「イグアノドン類の進化と繁栄」